

平成23年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月7日

上場会社名 キャリアバンク株式会社

上場取引所 札

コード番号 4834 URL <http://www.career-bank.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 佐藤 良雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 橋本 正太

TEL 011-251-3373

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第2四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第2四半期	2,461	9.3	71	681.5	71	—	36	514.2
22年5月期第2四半期	2,253	△9.3	9	—	6	—	6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第2四半期	3,857.83	—
22年5月期第2四半期	628.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第2四半期	1,755	700	29.8	54,744.51
22年5月期	1,608	705	30.7	51,743.07

(参考) 自己資本 23年5月期第2四半期 523百万円 22年5月期 494百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	—	—	800.00	800.00
23年5月期	—	—	—	800.00	800.00
23年5月期 (予想)	—	—	—	800.00	800.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,771	0.7	136	62.4	129	65.5	52	74.5	5,516.22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]3ページ「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年5月期2Q 9,556株 22年5月期 9,556株

② 期末自己株式数 23年5月期2Q 一株 22年5月期 一株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年5月期2Q 9,556株 22年5月期2Q 9,556株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国やアジアの新興国における好況の持続に伴い、輸出産業及び製造業を中心に企業業績が堅調に推移したことや政府の経済政策による個人消費の持ち直しにより、緩やかな景気回復の兆しが見られました。しかし、雇用情勢においては、来春卒業者の就職内定率が悪化するなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは企業と人材に対するマッチング並びにコンサルティングサービスにより、双方のニーズに応える質の高い人材サービスと企業における業務の効率化及び企業が求める営業成果を実現するサービスの提供を通して、北海道における雇用環境の改善と企業業績の拡大に向けた業務を展開し、収益の拡大を目指してまいりました。

人材派遣関連事業においては、労働者派遣法改正に備えて人材派遣利用を手控える動きがあるものの、医療や販売系の受託が伸び、前期を上回りました。人材紹介事業においては、成約件数を伸ばすことができ、前期を上回りました。再就職支援事業においては、行政官庁からの雇用対策事業を受託することができ、前期を上回りました。ペイロール事業においては、新規顧客の獲得により前期に比べ処理件数は増加したものの、住民税処理業務の受託数が伸びず、前期を下回りました。前期第4四半期から受託したその他事業（施設管理業務等）においては、当四半期において利益を確保することができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2,461,956千円（前年同期比9.3%増）、営業利益71,479千円（同681.5%増）、経常利益71,694千円（前年同期は経常利益6,102千円）、四半期純利益36,865千円（同514.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ147,165千円増加し、1,755,698千円となりました。これは主に売掛金の増加及び短期借入金の増加が現金及び預金の減少及び長期借入金の減少を上回ったためであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ151,504千円増加し、1,054,935千円となりました。これは主に短期借入金の増加が長期借入金の減少等を上回ったためであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4,339千円減少し、700,762千円となりました。これは主に少数株主持分の減少が利益剰余金の増加を上回ったためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、売上債権の増加額及び長期借入金の返済額等が短期借入れによる収入及び税金等調整前四半期純利益67,120千円の計上等を上回ったため、前連結会計年度末残高に比べて105,364千円減少し、773,430千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果使用した資金は184,553千円（前年同期比104.5%増）となりました。これは主に売上債権の増加額等が税金等調整前四半期純利益67,120千円の計上等を上回ったためであります。

投資活動の結果使用した資金は33,331千円（同42.2%減）となりました。これは主に連結子会社株式の追加取得による支出によるものであります。

財務活動の結果得られた資金は112,520千円（前年同期は使用した資金2,426千円）となりました。これは主に短期借入れによる収入が長期借入金の返済による支出等を上回ったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年7月14日に発表いたしました平成23年5月期(平成22年6月1日から平成23年5月31日)通期の業績予想に関しまして、変更はありません。

なお、本日、平成23年5月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関して発表しております。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

○会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第2四半期連結累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ984千円減少し、税金等調整前四半期純利益は3,670千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	823,430	928,794
売掛金	721,038	472,845
その他	34,031	27,870
貸倒引当金	△1,887	△1,078
流動資産合計	1,576,612	1,428,432
固定資産		
有形固定資産	20,505	20,738
無形固定資産	16,003	11,897
投資その他の資産	142,576	147,464
固定資産合計	179,085	180,099
資産合計	1,755,698	1,608,532
負債の部		
流動負債		
買掛金	81,452	80,119
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	154,388	154,388
未払費用	280,419	249,739
未払法人税等	45,409	25,368
未払消費税等	37,599	29,621
その他	48,929	79,233
流動負債合計	848,197	618,471
固定負債		
長期借入金	203,767	280,961
その他	2,970	3,998
固定負債合計	206,737	284,959
負債合計	1,054,935	903,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	242,181	242,181
資本剰余金	49,181	49,181
利益剰余金	230,416	201,196
株主資本合計	521,779	492,558
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,359	1,898
評価・換算差額等合計	1,359	1,898
少数株主持分	177,624	210,645
純資産合計	700,762	705,101
負債純資産合計	1,755,698	1,608,532

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)
売上高	2,253,414	2,461,956
売上原価	1,747,356	1,936,045
売上総利益	506,057	525,911
販売費及び一般管理費	496,911	454,431
営業利益	9,146	71,479
営業外収益		
受取賃貸料	11,404	13,664
その他	1,884	3,989
営業外収益合計	13,288	17,653
営業外費用		
支払利息	4,303	3,754
貸貸費用	11,404	13,664
その他	624	20
営業外費用合計	16,332	17,439
経常利益	6,102	71,694
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,489	—
特別利益合計	3,489	—
特別損失		
投資有価証券評価損	750	—
訴訟関連損失	—	1,341
持分変動損失	84	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,685
その他	—	546
特別損失合計	835	4,573
税金等調整前四半期純利益	8,757	67,120
法人税等	15,884	38,727
少数株主損益調整前四半期純利益	—	28,392
少数株主損失(△)	△13,128	△8,472
四半期純利益	6,001	36,865

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,757	67,120
減価償却費	8,968	7,493
支払利息	4,303	3,754
投資事業組合運用損益 (△は益)	622	20
投資有価証券評価損益 (△は益)	750	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△94,537	△248,192
営業債務の増減額 (△は減少)	31,318	1,332
未払金の増減額 (△は減少)	△3,382	△19,530
未払費用の増減額 (△は減少)	△22,657	30,808
預り金の増減額 (△は減少)	△25,786	△1,169
前受金の増減額 (△は減少)	40,475	△7,953
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,161	7,978
その他	△8,227	△2,130
小計	△65,557	△160,468
利息及び配当金の受取額	943	—
利息の支払額	△4,948	—
法人税等の支払額	△25,723	△21,042
法人税等の還付額	5,034	—
その他	—	△3,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	△90,251	△184,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△6,938	△3,344
無形固定資産の取得による支出	—	△7,177
投資有価証券の取得による支出	△288	△566
子会社株式の取得による支出	—	△24,000
その他	△433	1,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,660	△33,331
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	650,000
短期借入金の返済による支出	—	△450,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△92,476	△77,194
少数株主からの払込みによる収入	390	—
配当金の支払額	△8,133	△7,667
少数株主への配当金の支払額	△2,207	△2,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,426	112,520
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△150,338	△105,364
現金及び現金同等物の期首残高	899,356	878,794
現金及び現金同等物の四半期末残高	749,017	773,430

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。